

第5回四国中央市総合計画審議会 会議録

日 時	令和4年6月2日(木)午後7時00分～午後8時30分		
場 所	四国中央市消防防災センター 3階大会議室		
出席者	<p>【委員】(敬称略)</p> <p>内村浩美、森川隆、木村康久、眞鍋一慶、和田茂、近藤善春、村上智子、          寶利佳代、星川光代、篠原徹、清家孝、森実純夫、藤田恭二          (欠席:金崎佐和子、石村聡美)</p>		
	<p>【市】</p> <p>高橋副市長、大西政策部長</p> <p>政策推進課:福田課長、坂田課長補佐、大西課長補佐、筱原課長補佐、          進藤係長、大西係長、鈴木係長、合田主査、篠永係員</p> <p>地域振興課:西岡課長、山川課長補佐、大西課長補佐、井原主査、宮崎係員</p>		
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴者数	9名
	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1)第三次総合計画 基本計画(素案)について</p> <p>(2)第三次総合計画 基本構想(案)の一部修正について</p> <p>(3)その他</p> <p>4 閉会</p>		
配布資料	<p>・次第</p> <p>・委員名簿</p> <p>・資料1 第三次総合計画 基本計画(素案)</p> <p>・資料2 第三次総合計画 基本構想(案)</p> <p>・資料3 第三次総合計画 基本構想(案) 新旧対照表</p>		

【会議概要】

発言者	内容
	1 開会
	2 会長あいさつ
	3 議事
	(1) 第三次総合計画 基本計画(素案)について
事務局	資料1により説明
	質疑・応答
村上委員	基本構想(案)P24、2032年目標人口の内訳で、年少人口は9,900人となっている。一方、四国中央市まち・ひと・しごと創生『第2期人口ビジョン』の年齢3区分将来推計人口で、2032年の年少人口を推計すると約7,900人である。2,000人の開きがあるが、2020年の年間出生数は約600人であり、その差を埋めるためには、年間200人ずつ増やしていく必要がある。思い切った対策が必要と考えるが、具体的な戦略等はあるか。
事務局	ライフイベントを通じた育児しやすい環境の整備について、早急に対処が必要であると考えている。市内の人口減少・少子化対策プロジェクトでは、新婚や子育て中の移住者に対する住宅購入費や工事費の助成等について議論されている。市としても、人口減少・少子化は解決しなければならない問題と認識しており、早急に対応したいと考えているが、時間を要する問題であるので長い目で見えていただきたい。
篠原委員	基本構想(案)P24、2032年目標人口の内訳は見直すのか。
事務局	市の強みのある様々な施策を展開していく上で、将来的に目標となる数値を設定することが必要と判断した。見直しについては、再度事務局の方で検討したい。
篠原委員	介護業界に限らず各分野において担い手不足が深刻である。基本計画(素案)P42、施策18「安心して充実した高齢期の応援」の課題のところに、担い手不足の解消についてを加えてほしい。
事務局	他の施策との関係も考慮し、事務局や担当課で検討したい。
内村会長	基本計画(素案)P70、施策30「シティプロモーション戦略の推進」の成果指標「プロモーションサイトへの年間アクセス人数」について、目標値15万件の設定根拠は。
事務局	18歳から34歳までの若年層のUターンを推進することを考えており、現在本市のその年代の人口は12,444人である。毎月1回はプロモーションサイトを閲覧し、魅力を感じてほしいということで15万件とした。
	(2) 第三次総合計画 基本構想(案)の一部修正について

事務局	資料2・3により説明
	質疑無し
	(3) その他
事務局	次回の審議会は7月中の開催を予定している。本日は基本計画(素案)であったが、本日いただいたご意見を踏まえ、次回は(案)としてお示しし、ご審議いただきたい。(案)を承認いただいた後、次は市長への答申となる。改めて日程等を調整させていただきたい。
	4 閉会